

### Ⅲ まとめ

#### 1 電話相談

##### (1) 家庭教育ホットライン

- 全相談件数 1,411 件のうち、「家庭教育ホットライン」は、相談件数が 643 件で全件数の 46%、時間数では、全相談時間数 32,057 分のうちの 18,064 分で、全相談時間数の 56%であった。その中で、子どもに関する相談は 619 件、17,271 分で、「家庭教育ホットライン」の全相談件数の 96%、全相談時間数の 96%を占めている。
- 子どもに関する相談の内容をしてみると、最も多く寄せられたのは「学校問題」の相談で、32%となっている。いじめや不登校等、担任教師や学校の対応への不満、トラブルが起きたときの対応など、学校に関する問題についての相談が年間を通して多くなっている。次に多いのは「育児」で 12%である。続いて「家族問題」についての相談が 9%、「いじめ」についての相談が 8%となっている。

相談者は、母親が 83%と圧倒的に多く、そのうち、「学校問題」に関する相談が 33%を占め、「育児」に関する相談が 12%となっている。父親からの相談においても、「学校問題」が最も多く 27%となっている。

##### (2) いじめ相談さわやかテレホン（昼・夜間）

- 全相談件数 1,411 件のうち、「いじめ相談さわやかテレホン」は、相談件数が 768 件で全件数の 54%、時間数では、全相談時間数 32,057 分のうちの 13,993 分で、全相談時間数の 44%であった。その中で、子どもに関する相談は 730 件、13,714 分で、「いじめ相談さわやかテレホン」の全相談件数の 95%、全相談時間数の 98%を占めている。
- 子どもに関する相談のうち、一番多い相談者は高校生で 32%、続いて保護者等の大人からが 28%、中学生が 21%、小学生からの相談は 11%であった。時間帯別で見ると、昼間の相談件数が 558 件で、割合は高校生 31%、大人 24%、中学生 23%、小学生 13%となっている。夜間は、相談件数が 172 件で、割合は大人が 38%と最も高く、高校生 34%、中学生 18%、小学生 5%であった。相談内容は、それぞれの時間帯で「いじめ」が最多であり、昼間は 25%、夜間は 23%を占めた。「学校問題」も割合が高く、昼間は 19%、夜間は 21%となっている。

##### (3) メール相談

- 全相談件数 77 件のうち、保護者等からの相談は 32 件で全体の 42%、そのうち母親からの相談が 24 件で 75%を占めた。相談対象者は中学生が 44%、小学生が 22%となっており、小・中学生に関する相談が多かった。相談内容で見ると、「育児」が最も多く 31%、「いじめ」19%、「学業・進学問題」9%と続いた。本人からの相談は 45 件、全相談件数の 58%であった。相談者は高校生が最も多く、全体の 53%となった。相談内容は「学業・進学問題」、「家族問題」の割合が高かった。
- いじめに関する相談は、8 件、相談者は保護者からが 6 件、子どもからが 2 件であった。
- メール相談で使用された機器は、スマートフォン・携帯が 51 件、パソコンが 26 件で、スマートフォン・携帯が多く使用されている。